

タイトル

案1 古民家を見てもらうことでまちづくりに貢献  
新潟県上越発：文化財の一斉公開に取り組む上越名家ネットワーク



案2 守れ上越の文化財！見てもらうことが持続すること  
文化財の一斉公開に取り組む上越名家ネットワーク

新潟県上越市には江戸時代の旧家の邸宅が個人所有のまま多数残っています。上越市内に点在する歴史的旧家4邸（白田邸、瀧本邸、林富永邸、保阪邸）が今回の舞台。貴重な文化財としての認知度も低く、各邸の当主による維持管理が長く続けられてきましたが、広く一般の皆さんに見てもらうことで認知度を高め、維持管理に関わる費用の一部を賄うために、4邸によるネットワークを作り、一斉に公開する活動に取り組んでいます。



白田邸



瀧本邸



林富永邸



保阪邸

上越名家一斉公開が始まったのは2017年。春と秋の年2回、それぞれ2日間の一斉公開を続けています。通常は非公開である個人所有の文化財が一斉に見学できる機会に多くのお客様が来られ、これまで知られていなかった地域の宝を認知いただけるようになってきました。また、一斉公開当日以外にも団体バスツアーの受入れなど、歴史的建造物の文化観光を通してまちづくりに貢献しています。1邸だけでは踏み出せなかった課題解決に向けた上越名家ネットワークの取り組みを是非ご紹介ください。



問い合わせ先

上越名家ネットワーク  
事務局 酒井 宏明

<https://joetsu-meika.com/>

メール：sakemix@yahoo.co.jp

電話：025-532-2602（林富永邸 / CAFE HAYASHI）

タイトル

## 歴史的旧家を守りたい！ 新潟・上越名家を守る女性たちの挑戦



新潟県上越市には江戸時代の旧家の邸宅が個人所有のまま多数残っています。上越市内に点在する歴史的旧家を守る女性3人が今回の主人公。個人所有の文化財は維持管理に労力とお金がかかりますが、過去からの思いやつながりを受け継ぎ、関わる人々の協力を得ながら、未来に向けて情熱をもって取り組んでいます。



白田邸



白田 美和子

ひとりで歴史的旧家を守ってきた女性当主です。能登半島地震で大きな被害があったものの、周囲の支援をいただきながら見事に復活させました。



保阪邸



保阪 洋子

ひとりで歴史的旧家を守ってきた女性当主です。町屋作りの街並みの中で、周囲と連携を取りながらイベントを企画し、地域の活性化に向けて挑戦しています。



林富永邸



酒井 里香

父親の生家である歴史的旧家の維持をバトンタッチして、文化財カフェを運営しています。維持することから利活用することで歴史的旧家を守る取り組みに挑戦しています。

豪雪地・上越市の中山間地にある歴史的旧家を守り続けることは、肉体的にも経済的にもハードです。過去から受け継いだ文化財を絶やさないように、それぞれの旧家をこの女性たちが守っています。また、上越名家ネットワークという団体を作り、一邸だけでは解決できない課題に挑戦しています。ジェンダーを越えて上越名家を守る取り組みを是非ご紹介ください。



問い合わせ先

上越名家ネットワーク  
事務局 酒井 宏明

<https://joetsu-meika.com/>

メール：sakemix@yahoo.co.jp

電話：025-532-2602（林富永邸 / CAFE HAYASHI）